

2021 年度 ホコテンの活動へ のご支援のお願い



今年度の活動資金が不足しています！

皆様のご支援をお願いいたします

皆様ご承知の通り、新型コロナウイルスの感染拡大状況から、2020年に続き、残念なことに2021年度のオビヒロホコテンも全日程が中止となりました。

昨年度から開催における感染拡大防止対策を参加グループの皆様と考え、今年度初めには1～3の各北海道警戒ステージ数に応じた開催計画を準備し、シーズンを通した毎週の運営会議ごとに経過を観察しながら開催の可能性を検討し、その可否を判断して参りました。

しかしながら、感染は第四波、第五波と拡大を繰り返し、結局は最後まで開催を決定できることなく予定していたシーズンは終了となってしまいました。

開催が確定できない状況から、例年通りの企業・団体・個人の皆様へのご協賛のお願いは最終的に行うことはできませんでした。

シーズン通常開催の場合、年間約500万円の費用がかかっています。今年度は開催は出来ずに終わっていますが、開催の有無に関わらず、今年度の実行委員会では、事務所家賃、通信費、水道光熱費など約126万円の金額が必要となり、現在のところ借入金などを各支払いに充てている状況です。

うち、帯広市から対象経費1/2の補助金約60万円が収入の見込みとなっていますが、それでもまだ約65万円余りが不足する計算となりました。(2021/8月時点)

今年度の見込不足額

65.5万円

現在、事務所家賃などの割引や協賛などのご協力を頂き、実際の不足額はこれよりも若干下回る予定ですが、上記の額の大部分が不足する見込みです。

この額を目安として、オビヒロホコテンの継続、再開のため、皆様にご支援をお願いいたします。個人、企業、団体などどなたでも歓迎です。(ご芳名は公式ホームページに掲載させていただきます)

2022年度の開催に向けて

2年連続でシーズン全日程が中止となったオビヒロホコテンですが、来年度の開催を期待するお声を多くの皆様から頂戴しています。実行委員会では、14年もの間開催され帯広の中心市街地の風物詩となったオビヒロホコテンを、まちなかの活性化を担う取り組みとして再開し継続していきたいと考えています。

現在、感染状況は幸いにも収束を見せていますが、今後の見通しや対策の必要性は予断を許さない状況です。来年度もこのまま収束が続いた際は、イベント参加の皆様、来場者の皆様、ボランティアの皆様と協力しあい一体となった対策で開催を行う所存です。

「市民がつくり 市民が楽しみ 市民が支える」オビヒロホコテンを、皆様の手でご支援頂き再開につなげられれば幸いです。

ご支援の方法

下記のいずれかにてお願いいたします



1.口座へのお振込

以下の当実行委員会の口座にお振込ください。
(お振込手数料はご負担お願いいたします)

帯広信用金庫 本店 普通口座 1487096

帯広まちなか歩行者天国実行委員会
実行委員長 細川吉博

※領収証が必要な場合は別途ご連絡ください

お問い合わせ : office@hokoten.net

事務局 金澤 090-5222-7020

副実行委員長 杉山 090-7659-3610

2.現金でのお支払い

ご希望の場合集金に参加します。

(帯広市内及び隣接町村のみとなります)

Eメールか FAX のいずれかにてお申し込みください。確認後連絡を差し上げます。

※FAX での場合数日かかる場合があります

●Eメール : office@hokoten.net

●FAX : **0155-23-4510**

※番号をお間違えないようご注意ください



下記 FAX フォームをご利用ください
(ホコテン公式 HP からダウンロードもできます)

集金お申込書 FAX 送信用

| | |
|---------------------------------------------|----------|
| ご寄付者名 | |
| ご寄付金額 | 円 |
| ご住所 ※集金先 | 〒 - |
| ご担当者名 ※企業・団体などでの 場合のみ | ご氏名・部署など |
| 連絡先 ※お間違いがあると 連絡できませんので 正確にご記入ください | TEL - - |
| | FAX - - |
| | E-mail @ |
| | 携帯電話 - - |
| 備考 | |

2021年度 これまでの活動



新型コロナウイルスへの対策

2021年4月新年度のスタート時点で、新型コロナウイルスの感染拡大状況は、第三波の後比較的収まっているように見えました。

実行委員会では、開催を前提にして準備を行い、北海道警戒ステージ数を基準にした異なる開催形態の計画を作成しました。いずれの場合も三密を避けるなどの「新北海道スタイル」に基づく対策をとった上の開催です。

北海道警戒ステージ数

(各開催の1か月前までに以下に決定)

1：対策をとった上で通常開催

平原通・広小路他の5ブロックエリア
一般申込の参加イベントを開催

2：対策をとった上で縮小開催

広小路の2ブロックエリアのみ
実行委員会主催の出店のみで開催
(雑貨市などの「ホコテンメルカード」)

3以上：中止

また、昨年度に行った、既存の各参加グループとの対策意見交換会「ホコテン懇談会」の結果、参加内容がそれぞれ多様なことから、参加グループには、各自の感染拡大防止対策の作成と提出・確実な実行を義務付け、開催までに感染者発生の場合参加中止を条件としました。加え実行委員会スタッフ内にて発生があった場合開催を中止とすることとしました。

一般のイベントに比べ慎重な基準ですが、市民の皆様への安全あつてのホコテンであり、社会的・公共的な立場からもリスクを冒してまで開催すべきではなく、また地域への注意喚起のメッセージでもあるという考えです。

毎回ごと開催の可能性を検討

例年、6月第3～4週からの毎週日曜日開催が通常ですが、4月中旬の時点での経過が微妙な状況であり観察期間が必要なことから、あらかじめ6月中の開催は見送り、7月からの開催日程としました。

4月21日には参加希望グループの皆様との「全体会議」、5月28日に各関係機関の皆様との「関係機関連絡会議」を開催し、開催計画と対策について話し合いました。

その後、毎週の運営会議にて状況分析と予測、各開催の可能性を検討し続けましたが、ご存知のように、第四、第五波と感染の拡大が繰り返し発生し、警戒ステージは基準まで下がることはなく、最終的に予定していた10回の開催は全て中止となってしまいました。(運営会議は10月までに17回開催しています)

来年度の開催再開に向け

多くの皆様のご期待に応え、また帯広の中心市街地の活性化のため、現在実行委員会では来年の開催再開に向け取り組んでいます。

感染の拡大についてはまだ予断を許さない状況であり、開催に当たっては引き続きの対策が必要と思われます。前述の対策をとりながらの実際の初の開催となることから、さらに細かい準備を続ける予定です。

来年以降も、新しいスタイルのホコテンを通じて、まちなかに再び人が戻ってくるため実行委員会ではこれからも活動を続けます。

ホコテンの写真を 藤丸にて展示します



11/5(金)~9(火)

まちなかにぎわいかムバック 展

このたび「まちなかにぎわいかムバック パネル展」が藤丸にて開催されます。

新型コロナウイルスの感染拡大により2年連続で帯広市内中心部の催しのほとんどが中止となりました。来年以降のまちのにぎわいの回復のきっかけとして、おとしまでのまちなかイベントの写真やポスターなど約100枚が展示されます。

2006年から2019年まで14年間開催されてきたオビヒロホコテンでは、色々な楽しいシーンを写真に撮りためてきました。今回の展示にはホコテンの写真も多数展示されます。ぜひまちなかにお越しの上お楽しみください。

まちなかにぎわいかムバック パネル展

期間：11月5日(金)～9日(火)

会場：藤丸7階催事フロア

エレベーター前ホール

時間：10～19時(最終日は16時まで)

主催：まちなかにぎわいかムバック実行委員会

いつもの参加グループのみなさんの紹介、心暖まるほほえましいシーン、思い出の写真など、ほんの一部ですがここでご紹介いたします。他のたくさんの写真はぜひ会場にて！

展示終了後はホコテン公式ホームページで掲載予定です。展示に来られない方、またご覧になった方も再びそちらでお楽しみ頂けます。

2022年の開催、どうぞご期待ください！そしてオビヒロホコテンへのご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます！

